

職場のストレスも重なり、重度のアトピー性皮膚炎 今はふつうの肌です。 37歳 男性 入院 2010.1.18~2010.5.31

入院の数年前よりアトピー性皮膚炎発病。近医にてステロイド外用治療 2008.9 当院外来通院。全身性の重度のアトピー性皮膚炎でステロイド、プロトピック外用+抗アレルギー剤、多剤内服併用でもコントロール不良となり、仕事での精神的ストレスも重なって入院となった。

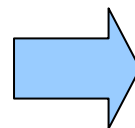
入院後は脱ステロイドを行い、皮膚炎はやや悪化。皮膚炎の指標である TARC や LDH はステロイド離脱で2ヶ月間は上昇したが、その後は順調に低下。TARC、LDH、好酸球は正常値にまで低下した。アラキドン酸は残念ながら入院前の測定値がないので変化がわからないが、入院後は低値を維持できていた。EPA はサプリメントを摂取し 4.23 からは高くなっている。退院後も自宅でバチルス入浴ケアを継続して良好な状態を維持。2010.9 からは薬は保湿剤も含めてほとんど不要になっている。

IgE もステロイド、プロトピックを使用していた入院時よりも低下し、皮膚炎の自覚症状はほとんどなく肌も正常皮膚に戻った。発汗の多い職場に復帰したが悪化はなく経過。2012.6 から転居をきっかけに BSC を中止したが、半年後にアトピー性皮膚炎がやや悪化。再度バチルス入浴ケアを再開し安定。現在に至る。

	正常値	2010.1.19	2.8	3.8	4.23	5.24	6.15	8.10	9.28	2011.2.4	2012.11.27
TARC	450 以下	708	17408 ↑	26843 ↑	6648 ↓	3062 ↓	872 ↓	282 ↓	166 ↓	232	572
LDH	120~245	249	452 ↑	524 ↑	273	222	223 ↓	191 ↓	181 ↓	212	188
IgE	170 以下	1188	1078	2101	2352	2015 ↓	2769	1703 ↓	1415 ↓	717 ↓	714
好酸球	7%以下	12.6	17.0	24.0	11.9	30.0	7.0 ↓	3.4 ↓	0.7 ↓	3.0	0.8
アラキドン酸	113~238		89.4		90.3	72.9					
EPA	9~128		23.7		78.8	72.8					
EPA/アラキドン酸	0.06~0.7		0.27		0.87	1.00					



2010.3.29



2010.12.4